

劇団銀河鉄道のぬいぐるみミュージカル

ジャックと 豆の木

イギリスの昔話

脚本・演出
根本研二

—2幕—
1時間35分

2026年 **7/11** (土)

午前部 **10:30開演**
(10:00開場) 午前の部は
稲美町立幼稚園
5園の鑑賞

午後部 **14:00開演**
(13:30開場) 午後の部は
一般の方の鑑賞

主催 / コスモホール文化振興協会

銀河鉄道
未来に旅立つ子供をのせて

全席指定 1階席 大人 1,500円 小学生以下 1,000円
2階席 大人 1,000円 小学生以下 700円

※3歳以上は有料です。3歳未満のお子様は、保護者のおひざの上でご鑑賞ください。

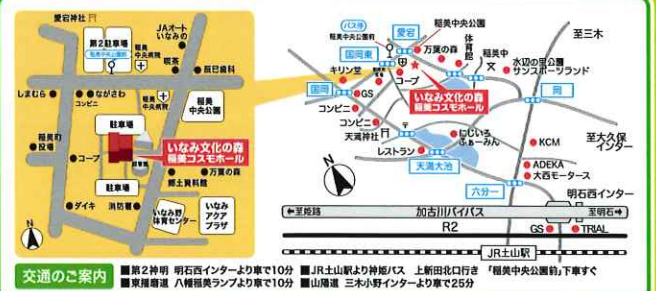
前売開始 2026年5月9日(土) 10時から発売開始

■予約電話(コスモホールのみ)

※発売初日の午後1時から受付開始
(先行予約ではありません)

☎079-492-7700

※発売初日はお一人様5枚までとさせていただきます。



交通のご案内 ■第2神明 明石西インターより車で10分 ■JR土山駅より徒歩18分 上新田北口行き
■東横町 八幡岡ランプより車で10分 ■山陽道 三木小野インターより車で25分 ■JR土山駅

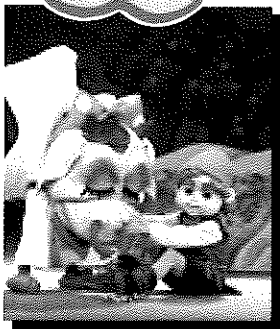
稲美コスモホール

お問い合わせ / 稲美町立文化会館コスモホール(月曜日休館)
〒675-1114 兵庫県加古郡稲美町国安1286-1 TEL.079-492-7700(17時まで)

ジャックと 豆の木

イギリスの昔話

おはなし



昔々、ジャックという甘えん坊の男の子が、お母さんと二人で暮らしていました。

お母さんは牝牛を飼っていて、その牛乳を売ってなんとか生活をしていました。しかし、牝牛のお乳が出なくなってしまったので、その牝牛を売るようになりました。お母さんに、その牝牛を売ってくるように頼まれたジャックは、牝牛を連れて市場へと歩き出しました。

その道の途中で、ジャックはおじさんに出会います。「ジャック、その牝牛とこの魔法の豆を取り替えないかい？」とおじさんは言いました。「魔法の豆」と聞いて、ジャックは喜んで牝牛と豆を取り替えました。牝牛の代わりに豆を持って帰ってきたジャックに、お母さんはとても怒りました。

大人も
子どもも 楽しめる舞台を～

身の丈3メートルもある大男との対決、壮大なセット、そしてユーモラスなキャラクターたち。

胸踊るメロディにのって、豆の木を上にと縦横無尽にジャックが走り回ります。

大人になるにつれ、子どもの頃の気持ちは次第に忘れてしまうものですが、子どもの気持ちを想像する心を無くさずに、子どもも大人も楽しめる舞台を目指し、子どもと童話、子どもと大人を繋ぐ橋渡しになればと思っています。

でも、ジャックは魔法を信じ、そっと豆を土に埋めました。

次の日の朝、ジャックが目覚めると、豆の木が天高く雲まで伸びていました。

「本当に魔法の豆だったんだ」と、ジャックは雲の上を目指し、豆の木を登っていきました。その途中、妖精が現れてジャックに言いました。

「待っていたよジャック」
「僕のことを知ってるの？」
「もちろん、ずっと待っていたんだから。ジャックなら行けるよ雲の上まで」
「雲の上には何があるんだろう」



ジャックは登り出します。
雲の上を目指して……。

劇団 銀河鉄道は……「未来に旅立つ子どもたちに、豊かでしなやかな心を育むお話を運びます」

1979年創立。なるべく説明をはぶき、子どもに発見をさせる、「発見こそ子どもの感動につながる」を理念に創意工夫された舞台と楽器の生演奏など常に「質の高いぬ

いぐるみ劇の確立」をめざしています。現在、全国の大ホールを中心に年間300日550ステージほどの公演を続けています。

これまでの主な作品

★東京都優秀児童演劇選定優秀賞受賞

「まえがみ太郎」
「日本むかしばなし つるのおんがえし」

★厚生省中央児童福祉審議会特別推薦文化財

「まえがみ太郎」

★厚生省中央児童福祉審議会推薦文化財

「ちびっこ太郎」
「ちびっこカムのぼうけん」
「日本むかしばなし つるのおんがえし・なしとり兄弟」
「ヘンゼルとグレーテル」
「おおかみと7ひきのこやぎ」